

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-107370(P2006-107370A)
【公開日】平成18年4月20日(2006.4.20)
【年通号数】公開・登録公報2006-016
【出願番号】特願2004-296687(P2004-296687)
【国際特許分類】

G 0 6 F 11/28 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 11/28 3 4 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月10日(2007.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機械装置のソフトウェア動作をシミュレーションし、機械部品の動作を制御するための制御信号を出力するソフトウェアシミュレーション工程と、

前記機械部品の特性に基づいて前記制御信号を変換し、変換された制御信号を出力する制御信号変換工程と、

前記変換された制御信号に基づいて前記機械部品のシミュレーション動作を実行する機械部品シミュレーション工程とを備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項2】

前記機械部品の特性に関する情報を特性情報として記憶手段に記憶する特性情報記憶工程を更に備え、

前記制御信号変換工程は、前記機械部品に対応する前記記憶された特性情報を参照し、参照された特性情報に基づいて、前記制御信号を変換し、出力することを特徴とする請求項1に記載の情報処理方法。

【請求項3】

前記制御信号変換工程は、前記制御信号を前記機械部品の応答遅延時間特性に基づいて遅延させ、出力することを特徴とする請求項1又は2に記載の情報処理方法。

【請求項4】

前記制御信号変換工程は、前記制御信号を、クラッチ、ソレノイド、及び、DCモータの少なくともいずれかを含む前記機械部品の応答遅延時間特性に基づいて遅延させ、出力することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理方法。

【請求項5】

前記制御信号変換工程は、DCモータを含む機械部品の速度変化特性に基づいて、前記制御信号から回転速度情報を導出し、該回転速度情報を出力することを特徴とする請求項1又は2に記載の情報処理方法。

【請求項6】

機械装置のソフトウェア動作をシミュレーションし、機械部品の動作を制御するための制御信号を出力するソフトウェアシミュレーション手段と、

前記機械部品の特性に基づいて前記制御信号を変換し、変換された制御信号を出力する制御信号変換手段と、

前記変換された制御信号に基づいて前記機械部品のシミュレーション動作を実行する機械部品シミュレーション手段とを備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の情報処理方法を実行するためのコンピュータプログラム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のコンピュータプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。